



平成 20 年 3 月期 決算短信 [米国会計基準]

平成 20 年 4 月 28 日

上場会社名 **富士フイルムホールディングス株式会社**

上場取引所 東 大 名

コード番号 4901

URL <http://www.fujifilmholdings.com/>

代 表 者 代表取締役社長 古森 重隆

問合せ先責任者 経営企画部 IR 室長 吉沢 勝

TEL (03) 6271-1111

定時株主総会開催予定日 平成 20 年 6 月 27 日

配当支払開始予定日 平成 20 年 6 月 30 日

有価証券報告書提出予定日 平成 20 年 6 月 30 日

1. 20 年 3 月期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(百万円未満四捨五入、%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期	2,846,828	2.3	207,342	83.4	199,342	93.0	104,431	203.2
19 年 3 月期	2,782,526	4.3	113,062	60.5	103,264	29.7	34,446	△6.9

	1 株 当 た り 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 た り 当 期 純 利 益	株 主 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 本 税 引 前 利 益 率	売 上 高 営 業 利 益 率
	円 銭	円 銭	%	%	%
20 年 3 月期	205 43	193 56	5.4	6.1	7.3
19 年 3 月期	67 46	65 04	1.7	3.3	4.1

(参考) 持分法投資損益 20 年 3 月期 2,706 百万円 19 年 3 月期 3,358 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株 当 た り 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期	3,266,384	1,922,353	58.9	3,811 19
19 年 3 月期	3,319,102	1,976,508	59.5	3,867 04

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期	298,110	△259,715	△72,308	330,926
19 年 3 月期	297,276	△298,001	158,287	384,719

2. 配当の状況

	第 1 四半期末	中間期末	第 3 四半期末	期末	年間	配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	株主資本配当率 (連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
19 年 3 月期	-	12 50	-	12 50	25 00	12,766	37.1	0.6
20 年 3 月期	-	17 50	-	17 50	35 00	17,773	17.0	0.9
21 年 3 月期 (予想)	-	17 50	-	17 50	35 00		16.0	

3. 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	1,400,000	△0.6	95,000	△12.6	95,000	△17.2	50,000	△22.7	99 13
通期	2,900,000	1.9	210,000	1.3	210,000	5.3	110,000	5.3	218 08

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有
 新規 1社（社名 富山化学工業株式会社）
 除外 1社（社名 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社）
- (2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
 ① 期末発行済株式数（自己株式含む） 20年3月期 514,625,728株 19年3月期 514,625,728株
 ② 期末自己株式数 20年3月期 10,228,426株 19年3月期 3,509,582株
 ③ 期中平均株式数 20年3月期 508,354,176株 19年3月期 510,620,624株

（参考）個別業績の概要

1. 20年3月期の個別業績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 個別経営成績 (百万円未満切り捨て、%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期	30,861	△92.0	26,649	△41.9	26,756	△57.9	27,759	△27.7
19年3月期	384,644	△48.6	45,882	△26.1	63,575	△24.4	38,390	△11.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期	54 60	53 59
19年3月期	75 17	72 21

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期	1,780,271	1,562,911	87.8	3,096 49
19年3月期	1,815,292	1,586,939	87.4	3,104 58

(個別業績に関するご注意)

当社は、平成18年10月1日に持株会社体制へ移行致しました。このため、平成19年3月期、平成20年3月期の個別業績は、前年同期と比較して大きく変動しております。

- (注) 業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、5ページを参照して下さい。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当期の我が国経済は、前半は好調な企業業績を背景に設備投資が堅調に推移し緩やかに成長しましたが、後半は原油価格や原材料価格の高騰、及び円高進行により景気回復に陰りがみられました。米国経済は、サブプライムローン問題などを背景として住宅投資や個人消費に減速感が見られるなど、やや低調に推移しました。一方、欧州経済は、雇用環境の改善などにより堅調に推移し、アジア経済は、中国を中心に引き続き高い成長を維持しております。

当社グループの関連市場におきましては、液晶ディスプレイ市場の成長が続き、また、海外を中心にドキュメント市場が伸長しましたが、一方、デジタルカメラの普及により、世界全体でカラーフィルム需要がさらに減少しました。

当期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の連結売上高は、カラーフィルムを中心にイメージングソリューション部門の売上が減少したものの、メディカル製品・サービス、印刷用 CTP プレート、フラットパネルディスプレイ材料を中心にインフォメーションソリューション部門が大きく売上を伸ばしたことに加え、海外を中心にデジタル複合機の販売が堅調に推移したドキュメントソリューション部門の売上が増加したこと、さらに対米ドルは対前年円高となりましたが、対ユーロは対前年で円安となったことなどにより、2 兆 8,468 億円(前期比 2.3%増)となりました。国内売上高は 1 兆 2,595 億円(前期比 3.4%減)、海外売上高は 1 兆 5,873 億円(前期比 7.3%増)となりました。

営業利益については、銀・アルミを中心とした主要原材料価格の高騰によるコストアップ、第 2 四半期より有形固定資産の減価償却方法を変更したこと、及び「スリム&ストロング活動」にともなう一時経費を合わせ約 600 億円のマイナス影響を受けました。これを販売数量の増加や前年度までに集中的に実施した構造改革、及び平成 19 年 3 月期後半よりスタートした富士フイルムグループ全体にわたるコスト改革「スリム&ストロング活動」の効果などによって吸収し、2,073 億円(前期比 83.4%増)と大幅増益を達成しております。当期の売上高、営業利益は、ともに過去最高となりました。

税引前利益は、1,993 億円(前期比 93.0%増)、当期純利益は、1,044 億円(前期比 203.2%増)となり、営業利益同様に大幅増益となりました。

当期の対米ドル円為替レートは 115 円、対ユーロ円為替レートは 162 円となりました。

なお、当期末の配当金は 1 株当たり 17 円 50 銭を予定しております。中間配当として 1 株当たり 17 円 50 銭を実施しておりますので、年間配当金は 1 株当たり 35 円となります。

【事業セグメント別の売上高及び事業展開】

「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、カラーペーパーの販売が市場シェアアップなどによって拡大しましたが、カラーフィルムやデジタルミニラボの需要が後退した影響などにより、5,471 億円(前期比 9.6%減)となりました。

カラーペーパーについては、主要国での市場シェアアップに加え、お店プリントの増加やフォトブックをはじめとした付加価値プリントの需要獲得に向けた販売促進活動を強化した効果もあり、販売が堅調に推移しました。また、平成 20 年 1 月に IP Labs GmbH を買収、今後もオンラインフォトサービス充実によるプリントサービスの拡大・向上を推し進めてまいります。

カラーフィルムについては、市場の縮小が続いており、売上は減少しましたが、競合他社の市場撤退を捉えた販売促進が奏功し、当社の市場シェアは上昇しました。

電子映像事業分野では、進化した顔キレナビを搭載したコンパクトデジタルカメラ「FinePix F50fd」や新感覚のラウンド&エッジデザインが好評の「FinePix Z10fd」など新製品の投入により大幅に販売台数を伸ばしましたが、スペック競争下での単価下落や北米の景気悪化の影響を受けました。今後も、豊かな階調表現を可能にした「FinePix S100FS」、顔キレナビの顔検出範囲を拡大した「FinePix F100fd」など独自性の高い新製品を中心に、拡販を推進してまいります。

「インフォメーションソリューション部門」

インフォメーションソリューション部門の連結売上高は、医用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」を中心としたメディカル製品・サービスの販売、旺盛な需要の続くフラットパネルディスプレイ材料、カメラ付き携帯電話用レンズユニットの販売が好調な光学デバイスなどが牽引し、1兆1,081億円(前期比8.0%増)となりました。

メディカルシステム・ライフサイエンス事業では、海外を中心にFCRやドライフィルムなどの機器及び材料の販売が好調に推移したほか、医療機関のIT化が着実に進展する中、医用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」の販売も拡大しました。内視鏡製品は競争が激化しており厳しい環境下にあります。また、「経鼻内視鏡」をはじめとした特長ある製品ラインアップと、国内外での販売網の拡大により、販売を強化しております。また、平成20年3月に連結子会社となった富山化学工業(株)を核に、「診断」「予防」領域に加え「治療」の領域への事業拡大を推し進めてまいります。

グラフィックシステム事業では、新興国の需要拡大や、CTP化の進展に対応した生産能力の拡大などにより、売上が増加しました。また、英国FUJIFILM Sericol社が製造する耐候性に優れたUVインク・溶剤インクに対応した業務用インクジェットプリンターを平成19年4月より北米市場で販売を開始し、さらに販売エリアを欧州、アジア地域へと拡大させております。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、液晶ディスプレイの旺盛な需要に支えられ、主力製品である「フジタック」「WVフィルム」の売上が伸長しました。富士フィルム九州(株)第2工場では、平成19年8月に第3ライン、また、平成20年1月には第4ラインが稼働し、「フジタック」や「IPSモード向け高機能フィルム」の生産能力を拡大しております。

記録メディア事業では、ハイエンドのエンタープライズ分野で、IBM社「3592」用データカートリッジの販売が好調でしたが、ミッドレンジ系データストレージ分野は、厳しい価格競争による影響により、やや低調に推移しました。

情報・産業機材事業では、光学デバイス分野で、カメラ付き携帯電話の高画素化、高付加価値化が進む中、小型・軽量・高画質でオートフォーカス化・ズーム化に対応したカメラ付き携帯電話用レンズユニットが市場で高く評価され、売上が増加しております。

「ドキュメントソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、カラーデジタル複合機やオンデマンド・パブリッシングシステムのアジア・中国地域での販売及び欧米向け輸出が好調に推移したことなどにより、1兆1,916億円(前期比3.5%増)となりました。

オフィスプロダクト事業では、国内において、平成19年11月末より販売を開始した新開発のLED（発光ダイオード）プリントヘッド搭載のフルカラーデジタル複合機「ApeosPort-III C3300/C2200、DocuCentre-III C3300/C2200」の販売が好調に推移しましたが、モノクロ機を中心に需要が減少したため、販売台数全体ではやや低調に推移しました。一方、アジア・中国地域ではカラー機の販売が大きく増加しました。また、米ゼロックス社が実施した販売チャネル買収により、同社向け輸出が増加したことなどから、カラー機・モノクロ機とも欧米向けの出荷台数が大幅に増加しました。

オフィスプリンター事業では、国内においては、主力のカラーレーザープリンター「DocuPrint C3050」に加え、LEDプリントヘッドを搭載したカラーレーザープリンター「DocuPrint C2250」の販売を開始したことで、自社ブランド製品の売上は増加しましたが、OEM供給先の販売が総じて低調に推移した影響を受け、OEM売上は減少しました。また、アジア・中国地域では市場の継続的な成長を背景としてカラー機・モノクロ機ともに販売が増加しました。

プロダクションサービス事業では、国内においては、デジタル印刷市場向けのカラー・オンデマンド・パブリッシングシステムの販売台数は増加したもののモノクロ機の減少、競争激化による単価ダウン等により、売上がやや低調に推移しました。一方、ゼロックス社向け輸出で、カラーパブリッシングエントリーモデルの「DocuColor 5000 Digital Press」の販売が好調に推移しました。また、アジア・中国地域においては、カラーエントリーモデルに加え、モノクロ機の販売台数も増加しました。

グローバルサービス事業では、お客様の業務プロセスの改善に向けたコンサルティングやドキュメント管理業務全般の運用などを行うドキュメントアウトソーシングビジネスが国内外ともに引き続き伸長しました。

【次期見通し等について】

平成21年3月期の事業環境を展望すると、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速が予想されるほか、ドル安・円高の進行、銀・アルミなど主要原材料価格の高止まりなどによるマイナス影響が前年比で450億円強発生する見込みです。

こうした事業環境の中で、平成21年3月期も、当社が全力をあげて取り組んでいるスリム&ストロング活動を強力に推進し、固定費削減を進めるとともに、インフォメーション分野やドキュメント分野を中心に競争力ある製品群の拡販を推し進めることによって、上記のマイナス影響を吸収してまいります。

以上を踏まえ、平成21年3月期業績は、連結売上高は2兆9,000億円(前期比1.9%増)、営業利益は2,100億円(前期比1.3%増)、税引前利益は2,100億円(前期比5.3%増)、当期純利益は1,100億円(前期比5.3%増)を予定しております。売上高、営業利益、及び税引前利益については、過去最高を達成させることを目指しております。

なお、通期での対米ドル円為替レートを100円(前期比15円高)、対ユーロ円為替レートを155円(前期比7円高)で想定しております。

【中期経営計画「VISION75（2007）」の取り組み】

当社グループは、「新たな成長戦略の構築」「経営全般にわたる徹底的な構造改革」「連結経営の強化」の三つの基本戦略を掲げた中期経営計画 VISION75 を強力に推し進めておりますが、当期は、中期経営計画 VISION75(2007)に従い、「成長戦略のさらなる推進」と「強靱な企業体質の実現」をテーマに、重点事業分野への投資の強化や、製造原価や販売費及び一般管理費の低減、研究開発費の効率使用を目的としたスリム&ストロング活動を当社グループの全ての組織を対象に推進しました。

「成長戦略のさらなる推進」としては、需要が旺盛なフラットパネルディスプレイ材料の供給能力拡大のための設備投資、メディカルシステム・ライフサイエンス事業における事業領域を拡大するため、インフルエンザ治療薬等有力な新薬候補を保有している研究開発型の創薬メーカーである富山化学工業(株)株式の買収、並びに新規事業創出のための研究開発の強化などを積極的に実施してまいりました。

「強靱な企業体質の実現」としては、スリム&ストロング活動の一環として、当社グループ企業向けにサービスを提供するシェアードサービス会社を平成19年7月1日に発足させ、コスト削減を推進しております。また、富士フイルム(株)と富士ゼロックス(株)による倉庫の共同利用、共同輸送を実施するなど、物流効率化によるコスト削減も推進しました。一方、競争が激化しているデジタルカメラ事業においては、コスト競争力を強化するため、デジタルカメラの生産体制を見直すとともに、製品開発、調達、品質保証機能を一拠点に集約しました。ドキュメント分野でもコピー用紙を中心とした複写機・複合機関連のサプライ用品・消耗品販売事業の再編を行いました。

(2) 財政状態に関する分析

(資産、負債及び純資産の状況)

当期末の総資産は、前期末(平成19年3月31日)に比べ現金及び現金同等物、投資有価証券が減少したことにより、527億円減の3兆2,664億円(前期末比1.6%減)となりました。一方、負債は、退職給付引当金が増加しましたが、未払費用が減少したため、155億円減の1兆2,150億円(前期末比1.3%減)となりました。株主資本は、為替換算調整に伴うその他の包括損失の増加、自己株式の増加により542億円減の1兆9,224億円(前期末比2.7%減)となりました。この結果、流動比率は、2.5ポイント減の200.4%、負債比率は0.9ポイント増の63.2%、株主資本比率は0.6ポイント減の58.9%となりましたが、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当期純利益の増加などにより、2,981億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入による1,661億円と事業買収に伴う支出990億円などにより、2,597億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得342億円を含め、723億円の支出となりました。以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前年度末に比べ538億円減少し、3,309億円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期
株主資本比率 (%)	59.5	58.9
時価ベースの株主資本比率 (%)	74.2	54.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.3	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	46.8	40.4

株主資本比率 : 株主資本／総資産

時価ベースの株主資本比率 : 株式時価総額 (期末株価終値×期末発行済株式数^{*}) / 総資産
*自己株式を除く

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 (社債、短期・長期借入金) / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い (支払利息)

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

配当につきましては、連結業績を反映させるとともに、成長事業のさらなる拡大に向けた設備投資や研究開発投資など、将来にわたって企業価値を向上させていくために必要となる資金の水準なども考慮した上で決定いたします。また、資本効率の向上に資する自己株式の取得についても、余剰キャッシュ・フローを活用し、配当を補完する施策として機動的に実施してまいります。

当社は、現在を第二の創業期と位置付け、重点事業分野に設備投資・M&A・研究開発投資を集中的に実施しております。このような状況に鑑み、配当額と自己株式取得額を合算した金額の連結純利益に対する比率である株主還元性向の目標を 25%としております。

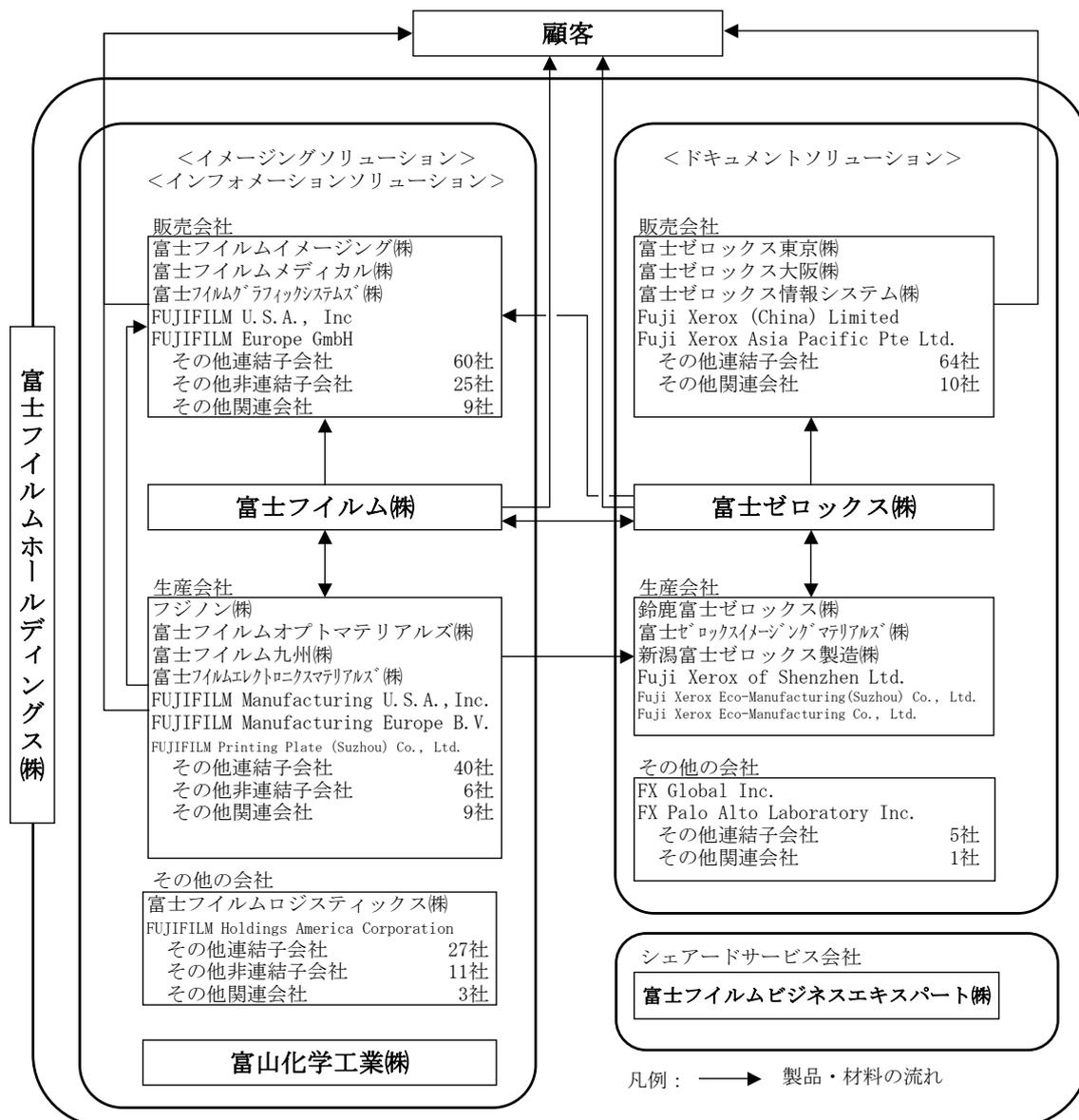
当期の期末配当金については、1株につき5円増配して17円50銭とし、同じく5円増配した中間配当金17円50銭と合わせ、年間で前年比10円増配の35円を予定しております。また当期は、670万株、341億円の自己株式取得を行いました。この結果、当期の株主還元性向は49.6%となりました。

次期の配当につきましては、1株につき中間配当金17円50銭、期末配当金17円50銭の年間35円を予定しております。

2. 企業集団の状況

富士フィルムグループは、平成 18 年 10 月 1 日より、持株会社体制に移行しました。グループ統括機能を果たす富士フィルムホールディングス(株)の下、イメージング及びインフォメーションソリューションを担う富士フィルム(株)と、ドキュメントソリューションを担う富士ゼロックス(株)を中心とした新たなグループ経営体制によって事業を展開しております。平成 20 年 3 月末時点における当企業集団は、富士フィルムホールディングス(株)及び子会社 267 社、関連会社 32 社より構成されており、当社及び主な子会社、関連会社の位置付け、事業の種類別セグメントとの関係は下記の通りです。

	主要な製品	主要な会社
イメージングソリューション	カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等	富士フィルム(株)、富士フィルムイメージング(株)、FUJIFILM U.S.A., Inc.、FUJIFILM Europe GmbH、FUJIFILM Manufacturing U.S.A., Inc.、FUJIFILM Manufacturing Europe B.V. 他
インフォメーションソリューション	メディカルシステム・ライフサイエンス機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等	富士フィルム(株)、富士フィルムメディカル(株)、フジノン(株)、富士フィルムグラフィックシステム(株)、富士フィルムオプトマテリアル(株)、富士フィルム九州(株)、富士フィルムエレクトロニクスマテリアル(株)、FUJIFILM U.S.A., Inc.、FUJIFILM Europe GmbH、FUJIFILM Manufacturing U.S.A., Inc.、FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.、FUJIFILM Printing Plate (Suzhou) Co., Ltd. 他
ドキュメントソリューション	オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、用紙、消耗品、オフィスサービス等	富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス東京(株)、富士ゼロックス大阪(株)、富士ゼロックス情報システム(株)、鈴鹿富士ゼロックス(株)、富士ゼロックスイメージングマテリアル(株)、新潟富士ゼロックス製造(株)、Fuji Xerox (China) Limited、Fuji Xerox Asia Pacific Pte Ltd.、Fuji Xerox of Shenzhen Ltd.、Fuji Xerox Eco-Manufacturing (Suzhou) Co., Ltd.、Fuji Xerox Eco-Manufacturing Co., Ltd.、FX Global Inc.、FX Palo Alto Laboratory Inc. 他



3. 経営方針

【中長期的経営戦略及び重点課題】

当社グループは、現在を「第二の創業」と位置付け、中期経営計画 VISION75 の基本戦略に基づき、以下の2点を重点的に推進しております。

- ① 「成長戦略のさらなる推進」のために、重点事業分野への投資を強化する。
- ② 「強靱な企業体質の実現」のために、スリム&ストロング活動を推進し、グループ全体を対象としたコスト改革による製造原価や販売費及び一般管理費の低減、研究開発費の効率使用を迅速果断に進める。

一方で、原材料価格の高騰や円高進行などにより、当社グループの経営環境は厳しさを増しております。今般、中期経営計画 VISION75 (2008) として見直し、成長戦略をさらに加速させるとともに、スリム&ストロング活動をより強力に推し進めていくことで、今後の成長をより確実なものとし、企業価値のさらなる向上を目指します。

当社グループが今後も成長し続けるために、常に成長事業の育成と新事業の創出を続けなければなりません。独自の技術を応用展開し、新たな価値創造にチャレンジします。その一つとして、平成 20 年 3 月より子会社とした富山化学工業㈱を足がかりに医薬品事業に本格参入いたします。同社の優れた創薬力やノウハウと、当社が長年培ったナノテク等の独自の技術を組み合わせ、「異業種連携による新薬創出モデル」を実現します。加えて、当社の財務力、海外販売ノウハウ、人材などの強みを投入することで、スピード感を持って新薬開発に取り組む、大きなシナジーを生み出してまいります。

比較連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	20年3月期 平成20年3月31日現在	19年3月期 平成19年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]		%	%	
流動資産				
現金及び現金同等物		330,926	384,719	△ 53,793
有価証券		14,936	48,536	△ 33,600
受取債権				
営業債権及びリース債権		584,349	597,985	△ 13,636
関連会社等に対する債権		28,461	23,952	4,509
貸倒引当金		△ 15,950	△ 16,345	395
		596,860	605,592	△ 8,732
棚卸資産		416,827	393,594	23,233
繰延税金資産		90,956	100,440	△ 9,484
前払費用及びその他の流動資産		61,447	52,368	9,079
流動資産 合計		46.3 1,511,952	47.8 1,585,249	△ 73,297
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		50,737	44,782	5,955
投資有価証券		234,684	336,886	△ 102,202
長期リース債権及びその他の長期債権		133,543	106,979	26,564
貸倒引当金		△ 4,109	△ 3,975	△ 134
投資及び長期債権 合計		12.7 414,855	14.6 484,672	△ 69,817
有形固定資産				
土地		101,492	92,400	9,092
建物及び構築物		673,175	634,045	39,130
機械装置及びその他の有形固定資産		1,709,104	1,674,487	34,617
建設仮勘定		57,139	44,444	12,695
		2,540,910	2,445,376	95,534
減価償却累計額		△ 1,764,543	△ 1,672,344	△ 92,199
有形固定資産 合計		23.8 776,367	23.3 773,032	3,335
その他の資産				
営業権		326,777	257,866	68,911
その他の無形固定資産		91,689	59,397	32,292
繰延税金資産		54,889	53,798	1,091
その他		89,855	105,088	△ 15,233
その他の資産 合計		17.2 563,210	14.3 476,149	87,061
資産 合計		100.0 3,266,384	100.0 3,319,102	△ 52,718

単位 百万円

科目	期別		20年3月期 平成20年3月31日現在		19年3月期 平成19年3月31日現在		増減 (△は減少)
[負債の部]			%		%		
流動負債							
社債及び短期借入金			113,797		106,043		7,754
支払債務							
営業債務			278,950		279,470		△ 520
設備関係債務			58,654		49,548		9,106
関連会社等に対する債務			5,210		4,887		323
			342,814		333,905		8,909
未払法人税等			41,636		41,034		602
未払費用			189,741		225,848		△ 36,107
その他の流動負債			66,643		74,534		△ 7,891
流動負債 合計			23.1	754,631	23.5	781,364	△ 26,733
固定負債							
社債及び長期借入金			256,213		267,965		△ 11,752
退職給付引当金			111,942		84,510		27,432
繰延税金負債			44,936		54,268		△ 9,332
預り保証金及びその他の固定負債			47,317		42,459		4,858
固定負債 合計			14.1	460,408	13.6	449,202	11,206
少数株主持分			3.9	128,992	3.4	112,028	16,964
[資本の部]							
資本金			40,363		40,363		0
普通株式							
授権株式数 800,000,000 株							
発行済株式数514,625,728 株							
資本剰余金			69,329		68,412		917
利益剰余金			1,923,432		1,840,168		83,264
その他の包括利益 (△損失) 累積額			△ 63,171		40,950		△ 104,121
自己株式 19年3月期 3,509,582株							
20年3月期 10,228,426株			△ 47,600		△ 13,385		△ 34,215
資本 合計			58.9	1,922,353	59.5	1,976,508	△ 54,155
負債及び資本 合計			100.0	3,266,384	100.0	3,319,102	△ 52,718

(注) その他の包括利益 (△損失) 累積額 内訳

	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現利益	18,172	46,231	△ 28,059
為替換算調整額	△ 17,599	39,404	△ 57,003
年金負債調整額	△ 63,638	△ 44,694	△ 18,944
デリバティブ未実現損益	△ 106	9	△ 115

比較連結損益計算書

単位 百万円

科目	期別	20年3月期		19年3月期		増減 (△は減少)	
		自 至	平成19年4月 1日 平成20年3月31日	自 至	平成18年4月 1日 平成19年3月31日	増減額	増減率
			%		%		%
売上高							
売上高			2,450,256		2,399,636	50,620	2.1
レンタル収入			396,572		382,890	13,682	3.6
		100.0	2,846,828	100.0	2,782,526	64,302	2.3
売上原価							
売上原価			1,532,596		1,478,828	53,768	3.6
レンタル原価			160,162		159,509	653	0.4
		59.4	1,692,758	58.9	1,638,337	54,421	3.3
売上総利益		40.6	1,154,070	41.1	1,144,189	9,881	0.9
営業費用							
販売費及び一般管理費		26.7	759,139	27.3	760,042	△ 903	△ 0.1
研究開発費		6.6	187,589	6.4	177,004	10,585	6.0
構造改革費用		-	-	3.3	94,081	△ 94,081	-
		33.3	946,728	37.0	1,031,127	△ 84,399	△ 8.2
営業利益		7.3	207,342	4.1	113,062	94,280	83.4
営業外収益及び費用 (△)							
受取利息及び配当金			13,462		11,376	2,086	
支払利息			△ 7,380		△ 6,351	△ 1,029	
為替差損益・純額			△ 14,640		6,746	△ 21,386	
投資有価証券評価損			△ 864		△ 23,946	23,082	
その他損益・純額			1,422		2,377	△ 955	
		△ 0.3	△ 8,000	△ 0.4	△ 9,798	1,798	18.4
税引前利益		7.0	199,342	3.7	103,264	96,078	93.0
法人税等							
法人税・住民税及び事業税			73,322		62,910	10,412	16.6
法人税等調整額			8,821		△ 3,377	12,198	-
		2.9	82,143	2.1	59,533	22,610	38.0
少数株主損益及び持分法による投資損益前利益		4.1	117,199	1.6	43,731	73,468	168.0
少数株主損益		△ 0.5	△ 15,474	△ 0.5	△ 12,643	△ 2,831	△ 22.4
持分法による投資損益		0.1	2,706	0.1	3,358	△ 652	△ 19.4
当期純利益		3.7	104,431	1.2	34,446	69,985	203.2

比較連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	20年3月期	19年3月期	増減 (△は減少)
		自平成19年4月 1日 至平成20年3月31日	自平成18年4月 1日 至平成19年3月31日	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 当期純利益		104,431	34,446	69,985
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		226,753	215,429	11,324
(2) 長期性資産の減損費用		6,910	12,202	△ 5,292
(3) 投資有価証券評価損		864	23,946	△ 23,082
(4) 法人税等調整額		8,821	△ 3,377	12,198
(5) 少数株主損益		15,474	12,643	2,831
(6) 持分法による投資損益 (受取配当金控除後)		95	△ 1,987	2,082
(7) 資産及び負債の増減				
・受取債権の増加		△ 12,990	△ 9,637	△ 3,353
・棚卸資産の増加 (△) ・減少		△ 30,479	10,976	△ 41,455
・営業債務の増加		10,169	12,700	△ 2,531
・未払法人税等及びその他負債の増加・減少 (△)		△ 52,001	1,326	△ 53,327
(8) その他		20,063	△ 11,391	31,454
小計		193,679	262,830	△ 69,151
営業活動によるキャッシュ・フロー		298,110	297,276	834
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 166,136	△ 172,572	6,436
2. ソフトウェアの購入		△ 20,714	△ 20,483	△ 231
3. 有価証券・投資有価証券等の売却・満期償還		141,615	109,116	32,499
4. 有価証券・投資有価証券等の購入		△ 47,303	△ 146,911	99,608
5. 関係会社投融資及びその他の貸付金の増加 (△) ・減少		△ 41,039	1,383	△ 42,422
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△ 98,973	△ 45,741	△ 53,232
7. その他		△ 27,165	△ 22,793	△ 4,372
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 259,715	△ 298,001	38,286
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		2,602	200,568	△ 197,966
2. 長期債務の返済額		△ 10,124	△ 29,725	19,601
3. 短期債務の増加・減少 (△) (純額)		△ 10,579	6,120	△ 16,699
4. 親会社による配当金支払額		△ 15,335	△ 12,754	△ 2,581
5. 少数株主への配当金支払額		△ 4,658	△ 5,220	562
6. 自己株式の取得 (純額)		△ 34,214	△ 702	△ 33,512
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 72,308	158,287	△ 230,595
IV 為替変動による現金及び現金同等物への影響		△ 19,880	8,559	△ 28,439
V 現金及び現金同等物純増加・純減少 (△)		△ 53,793	166,121	△ 219,914
VI 現金及び現金同等物期首残高		384,719	218,598	166,121
VII 現金及び現金同等物期末残高		330,926	384,719	△ 53,793

連結資本勘定計算書

単位 百万円

科目	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益(△損失)累計額	自己株式	資本合計
平成18年3月31日現在残高	40,363	68,412	1,818,610	52,917	△ 16,805	1,963,497
包括利益						
当期純利益			34,446			34,446
有価証券未実現利益減少額				△ 6,888		△ 6,888
為替換算調整額				27,539		27,539
最小年金負債調整額				△ 13,729		△ 13,729
デリバティブ未実現損益変動額				△ 2		△ 2
包括利益						41,366
基準書第158号の適用による調整				△ 18,887		△ 18,887
自己株式取得					△ 711	△ 711
自己株式売却			△ 122		4,131	4,009
現金配当金			△ 12,766			△ 12,766
平成19年3月31日現在残高	40,363	68,412	1,840,168	40,950	△ 13,385	1,976,508
EITF06-2号適用による会計方針の変更に伴う累積的影響額			△ 3,394			△ 3,394
包括利益						
当期純利益			104,431			104,431
有価証券未実現利益減少額				△ 28,059		△ 28,059
為替換算調整額				△ 57,003		△ 57,003
年金負債調整額				△ 18,944		△ 18,944
デリバティブ未実現損益変動額				△ 115		△ 115
包括利益						310
自己株式取得					△ 34,232	△ 34,232
自己株式売却		1			17	18
現金配当金			△ 17,773			△ 17,773
新株予約権の付与		916				916
平成20年3月31日現在残高	40,363	69,329	1,923,432	△ 63,171	△ 47,600	1,922,353

比較連結売上高明細表

(1) 製品別連結売上高

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
イメージング ソリューション	19.2%	547,066	21.7%	605,383	△ 58,317	△ 9.6
インフォメーション ソリューション	38.9%	1,108,134	36.9%	1,026,085	82,049	8.0
ドキュメント ソリューション	41.9%	1,191,628	41.4%	1,151,058	40,570	3.5
連結 合計	100.0%	2,846,828	100.0%	2,782,526	64,302	2.3

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション

: カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、
写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーション ソリューション

: メディカルシステム・ライサイエンス機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、
記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等

ドキュメント ソリューション

: オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、
用紙、消耗品、オフィスサービス等

(2) 国内・海外別連結売上高

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
国内	44.2%	1,259,506	46.9%	1,303,647	△ 44,141	△ 3.4
海外						
米州	19.6%	557,203	20.6%	572,797	△ 15,594	△ 2.7
欧州	15.8%	449,241	15.2%	422,965	26,276	6.2
アジア及びその他	20.4%	580,878	17.3%	483,117	97,761	20.2
計	55.8%	1,587,322	53.1%	1,478,879	108,443	7.3
連結 合計	100.0%	2,846,828	100.0%	2,782,526	64,302	2.3

セグメント情報

(1) 事業別セグメント情報

1. 売上高及び営業利益

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
イメージング ソリューション：						
外部顧客に対するもの	19.2%	547,066	21.7%	605,383	△ 58,317	△ 9.6
セグメント間取引		874		899	△ 25	-
計		547,940		606,282	△ 58,342	△ 9.6
インフォメーション ソリューション：						
外部顧客に対するもの	38.9%	1,108,134	36.9%	1,026,085	82,049	8.0
セグメント間取引		2,136		2,818	△ 682	-
計		1,110,270		1,028,903	81,367	7.9
ドキュメント ソリューション：						
外部顧客に対するもの	41.9%	1,191,628	41.4%	1,151,058	40,570	3.5
セグメント間取引		9,274		12,187	△ 2,913	-
計		1,200,902		1,163,245	37,657	3.2
セグメント間取引消去		△ 12,284		△ 15,904	3,620	-
連結 合計	100.0%	2,846,828	100.0%	2,782,526	64,302	2.3

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
営業利益・損失(△)：						%
イメージング ソリューション	△0.4%	△ 2,394	△7.0%	△ 42,631	40,237	94.4
インフォメーション ソリューション	11.5%	127,432	9.2%	95,170	32,262	33.9
ドキュメント ソリューション	7.2%	86,664	5.3%	61,186	25,478	41.6
計		211,702		113,725	97,977	86.2
全社費用及びセグメント間取引消去		△ 4,360		△ 663	△ 3,697	-
連結 合計	7.3%	207,342	4.1%	113,062	94,280	83.4

(参考) 上記事業別セグメント利益・損失に含まれる構造改革費用

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減額
構造改革費用：					
イメージング ソリューション		-		60,121	△ 60,121
インフォメーション ソリューション		-		17,269	△ 17,269
ドキュメント ソリューション		-		16,691	△ 16,691
連結 合計		-		94,081	△ 94,081

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション

：カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーション ソリューション

：メテオカルシステム・ライフサイエンス機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等

ドキュメント ソリューション

：オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、用紙、消耗品、オフィスサービス等

2. 総資産

単位 百万円

	20年3月期 平成20年3月31日現在	19年3月期 平成19年3月31日現在	増減 (△は減少)	
			増減額	増減率
総資産：				%
イメージング ソリューション	497,237	542,419	△ 45,182	△ 8.3
インフォメーション ソリューション	1,454,928	1,242,844	212,084	17.1
ドキュメント ソリューション	1,054,538	1,056,374	△ 1,836	△ 0.2
計	3,006,703	2,841,637	165,066	5.8
セグメント間取引消去	△ 5,196	△ 5,292	96	-
全社	264,877	482,757	△ 217,880	△ 45.1
連結 合計	3,266,384	3,319,102	△ 52,718	△ 1.6

3. 減価償却費と設備投資額

単位 百万円

	20年3月期	19年3月期	増減 (△は減少)	
	自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日	増減額	増減率
減価償却費：				%
イメージング ソリューション	37,773	52,818	△ 15,045	△ 28.5
インフォメーション ソリューション	107,454	88,147	19,307	21.9
ドキュメント ソリューション	80,975	74,333	6,642	8.9
全社	551	131	420	320.6
連結 合計	226,753	215,429	11,324	5.3
設備投資額：				%
イメージング ソリューション	17,929	19,827	△ 1,898	△ 9.6
インフォメーション ソリューション	101,421	95,947	5,474	5.7
ドキュメント ソリューション	50,708	48,127	2,581	5.4
全社	121	1,258	△ 1,137	△ 90.4
連結 合計	170,179	165,159	5,020	3.0

(2) 所在地別セグメント情報

1. 売上高及び営業利益

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
日本：						
外部顧客に対するもの	57.7%	1,643,710	59.9%	1,666,182	△ 22,472	△ 1.3
セグメント間取引		513,364		459,120	54,244	-
計		2,157,074		2,125,302	31,772	1.5
米州：						
外部顧客に対するもの	17.6%	500,910	17.7%	491,129	9,781	2.0
セグメント間取引		19,847		25,021	△ 5,174	-
計		520,757		516,150	4,607	0.9
欧州：						
外部顧客に対するもの	12.2%	347,028	12.2%	340,246	6,782	2.0
セグメント間取引		16,565		18,536	△ 1,971	-
計		363,593		358,782	4,811	1.3
アジア及びその他：						
外部顧客に対するもの	12.5%	355,180	10.2%	284,969	70,211	24.6
セグメント間取引		368,011		316,774	51,237	-
計		723,191		601,743	121,448	20.2
セグメント間取引消去		△ 917,787		△ 819,451	△ 98,336	-
連結 合計	100.0%	2,846,828	100.0%	2,782,526	64,302	2.3

単位 百万円

	20年3月期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
営業利益・損失 (△)：						%
日本	6.8%	146,222	4.1%	86,999	59,223	68.1
米州	1.0%	5,133	△2.5%	△ 12,927	18,060	-
欧州	△0.5%	△ 1,798	△0.7%	△ 2,356	558	23.7
アジア及びその他	7.6%	55,303	6.8%	41,056	14,247	34.7
セグメント間取引消去		2,482		290	2,192	-
連結 合計	7.3%	207,342	4.1%	113,062	94,280	83.4

2. 長期性資産

単位 百万円

	20年3月期 平成20年3月31日現在		19年3月期 平成19年3月31日現在		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
長期性資産：						%
日本		613,239		588,054	25,185	4.3
米州		45,122		58,001	△ 12,879	△ 22.2
欧州		62,546		71,084	△ 8,538	△ 12.0
アジア及びその他		55,460		55,893	△ 433	△ 0.8
連結 合計		776,367		773,032	3,335	0.4

有価証券に関する状況

有価証券の時価等

単位 百万円

	20年3月期 平成20年3月31日現在				19年3月期 平成19年3月31日現在			
	取得原価	未実現利益	未実現損失	見積 公正価値	取得原価	未実現利益	未実現損失	見積 公正価値
有価証券								
国債	0	-	-	0	22,330	3	36	22,297
社債	14,991	0	55	14,936	26,269	1	31	26,239
小計	14,991	0	55	14,936	48,599	4	67	48,536
投資有価証券								
国債及び外国政府債	5,341	92	-	5,433	50,115	118	86	50,147
社債	88,096	303	636	87,763	87,485	150	529	87,106
持分証券	99,397	38,982	4,552	133,827	107,869	82,829	627	190,071
小計	192,834	39,377	5,188	227,023	245,469	83,097	1,242	327,324
合計	207,825	39,377	5,243	241,959	294,068	83,101	1,309	375,860

・本表は米国会計基準に基づいて開示しております。当社及び子会社の負債証券・持分証券は、全て売却可能有価証券に分類されます。

(新会計基準)

緊急問題特別委員会（EITF）基準書第06-2号「米国財務会計基準審議会基準書第43号に準拠したサバティカル休暇及びその類似の給付に関する会計処理」を、当社は平成19年4月1日より適用しております。累積的影響の調整により、平成19年4月1日現在の未払債務が6,932百万円増加し、利益剰余金が3,394百万円減少しております。

科目	期別	20年3月期 第4四半期		19年3月期 第4四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成20年1月 1日 至 平成20年3月31日		自 平成19年1月 1日 至 平成19年3月31日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高							
売上高		611,352		618,412	△ 7,060	△ 1.1	
レンタル収入		98,063		95,596	2,467	2.6	
		100.0	709,415	100.0	714,008	△ 4,593	△ 0.6
売上原価							
売上原価		391,918		395,477	△ 3,559	△ 0.9	
レンタル原価		38,991		40,284	△ 1,293	△ 3.2	
		60.8	430,909	61.0	435,761	△ 4,852	△ 1.1
売上総利益		39.2	278,506	39.0	278,247	259	0.1
営業費用							
販売費及び一般管理費		27.6	196,116	27.1	193,240	2,876	1.5
研究開発費		7.5	53,041	6.2	43,925	9,116	20.8
構造改革費用		-	-	6.9	49,479	△ 49,479	-
		35.1	249,157	40.2	286,644	△ 37,487	△ 13.1
営業利益 (△損失)		4.1	29,349	△ 1.2	△ 8,397	37,746	-
営業外収益及び費用 (△)							
受取利息及び配当金			2,674		3,751	△ 1,077	
支払利息			△ 1,757		△ 1,940	183	
為替差損益・純額			△ 13,638		500	△ 14,138	
投資有価証券評価損			△ 484		△ 1,914	1,430	
その他損益・純額			△ 2,273		△ 1,006	△ 1,267	
		△ 2.1	△ 15,478	△ 0.1	△ 609	△ 14,869	-
税引前利益 (△損失)		2.0	13,871	△ 1.3	△ 9,006	22,877	-
法人税等							
法人税・住民税及び事業税			1,442		8,482	△ 7,040	△ 83.0
法人税等調整額			8,904		△ 3,611	12,515	-
		1.5	10,346	0.7	4,871	5,475	112.4
少数株主損益及び持分法による投資損益前利益 (△損失)		0.5	3,525	△ 2.0	△ 13,877	17,402	-
少数株主損益		△ 0.6	△ 4,314	△ 0.2	△ 1,310	△ 3,004	△ 229.3
持分法による投資損益		0.2	1,351	0.2	1,208	143	11.8
当期純利益 (△損失)		0.1	562	△ 2.0	△ 13,979	14,541	-

科目	期別	20年3月期 第4四半期	19年3月期 第4四半期
		自 平成20年1月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成19年1月 1日 至 平成19年3月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期純利益・純損失（△）		562	△ 13,979
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整			
(1) 減価償却費		60,232	56,316
(2) 長期性資産の減損費用		6,910	12,202
(3) 投資有価証券評価損		484	1,914
(4) 少数株主損益		4,314	1,310
(5) 持分法による投資損益（受取配当金控除後）		△ 614	△ 1,187
(6) 資産及び負債の増減			
・受取債権の増加（△）・減少		9,428	△ 5,122
・棚卸資産の減少		8,006	27,826
・営業債務の増加・減少（△）		△ 2,181	4,419
・未払法人税等及びその他負債の増加・減少（△）		△ 8,978	43,867
(7) その他		31,739	△ 14,530
小計		109,340	127,015
営業活動によるキャッシュ・フロー		109,902	113,036
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の購入		△ 51,234	△ 51,492
2. ソフトウェアの購入		△ 6,005	△ 6,693
3. 有価証券・投資有価証券等の売却・満期償還		96,134	33,482
4. 有価証券・投資有価証券等の購入		△ 1,960	△ 34,621
5. 関係会社投融資及びその他の貸付金の増加		△ 5,998	△ 1,575
6. 事業買収に伴う支出 （買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後）		△ 98,973	△ 4,099
7. その他		△ 12,672	△ 604
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 80,708	△ 65,602
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 長期債務による調達額		-	630
2. 長期債務の返済額		△ 257	△ 5,181
3. 短期債務の減少（純額）		△ 54,334	△ 13,413
4. 自己株式の取得（純額）		△ 5	△ 38
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 54,596	△ 18,002
IV 為替変動による現金及び現金同等物への影響		△ 20,480	677
V 現金及び現金同等物純増加・純減少（△）		△ 45,882	30,109
VI 現金及び現金同等物期首残高		376,808	354,610
VII 現金及び現金同等物期末残高		330,926	384,719

<参考資料>

比較連結売上高明細表（第4四半期）

（1）製品別連結売上高

単位 百万円

	20年3月期 第4四半期 自 平成20年1月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 第4四半期 自 平成19年1月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
イメージング ソリューション	14.6%	103,319	17.8%	127,334	△ 24,015	△ 18.9
インフォメーション ソリューション	41.0%	291,148	38.6%	275,785	15,363	5.6
ドキュメント ソリューション	44.4%	314,948	43.6%	310,889	4,059	1.3
連結 合計	100.0%	709,415	100.0%	714,008	△ 4,593	△ 0.6

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション

: カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、
写真プリント用のカラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーション ソリューション

: メカシステム・ライオンズ機材、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、
記録メディア、光学デバイス、電子材料、インクジェット用材料等

ドキュメント ソリューション

: オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、
用紙、消耗品、オフィスサービス等

（2）国内・海外別連結売上高

単位 百万円

	20年3月期 第4四半期 自 平成20年1月 1日 至 平成20年3月31日		19年3月期 第4四半期 自 平成19年1月 1日 至 平成19年3月31日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
売上高：						%
国内	47.5%	336,671	48.1%	343,469	△ 6,798	△ 2.0
海外						
米州	17.4%	123,108	19.2%	137,370	△ 14,262	△ 10.4
欧州	14.8%	105,063	15.1%	107,472	△ 2,409	△ 2.2
アジア及びその他	20.3%	144,573	17.6%	125,697	18,876	15.0
計	52.5%	372,744	51.9%	370,539	2,205	0.6
連結 合計	100.0%	709,415	100.0%	714,008	△ 4,593	△ 0.6

比較貸借対照表（個別）

単位 百万円

科目	期別		20年3月期		19年3月期		増減 (△は減少)
			平成20年3月31日現在		平成19年3月31日現在		
[資産の部]			%		%		
流動資産							
現金預金			9,906		101,460		△ 91,553
未収入金			612		5,511		△ 4,899
未収還付法人税等			5,657		3,758		1,898
短期貸付金			24,510		26,902		△ 2,392
有価証券			24,940		48,505		△ 23,565
			3.7	65,626	10.3	186,138	△ 120,512
繰延税金資産			2,122		291		1,830
その他流動資産			1,315		1,200		115
流動資産 合計			3.9	69,063	10.3	187,630	△ 118,566
固定資産							
有形固定資産							
建物			1,645		1,854		△ 209
機械装置			172		205		△ 32
車両・器具備品			163		233		△ 70
建設仮勘定			0		-		0
計			0.1	1,980	0.1	2,293	△ 313
無形固定資産							
ソフトウェア			458		383		75
計			0.0	458	0.0	383	75
投資その他の資産							
投資有価証券			120,931		188,940		△ 68,008
関係会社株式			1,505,131		1,367,079		138,052
長期貸付金			69,243		57,510		11,733
長期繰延税金資産			9,213		7,105		2,107
その他投資			4,252		4,352		△ 100
貸倒引当金			△ 3		△ 3		-
計			96.0	1,708,768	89.6	1,624,984	83,784
固定資産 合計			96.1	1,711,208	89.7	1,627,661	83,546
資産 合計			100.0	1,780,271	100.0	1,815,292	△ 35,020

単位 百万円

科目	20年3月期 平成20年3月31日現在		19年3月期 平成19年3月31日現在		増減 (△は減少)
	期別				
[負債の部]		%		%	
流動負債					
短期借入金		13,000		25,000	△ 12,000
未払金		43		987	△ 944
未払費用		889		360	529
工事代金支払手形		-		77	△ 77
その他流動負債		132		48	83
流動負債 合計		0.8 14,066		1.5 26,474	△ 12,407
固定負債					
新株予約権付社債		202,948		201,474	1,474
その他固定負債		345		404	△ 59
固定負債 合計		11.4 203,293		11.1 201,878	1,414
負債 合計		12.2 217,359		12.6 228,352	△ 10,992
[純資産の部]					
株主資本					
資本金		2.3 40,363		2.2 40,363	-
資本剰余金					
資本準備金		63,636		63,636	-
その他資本剰余金		0		-	0
資本剰余金 合計		3.6 63,636		3.5 63,636	0
利益剰余金					
利益準備金		10,090		10,090	-
その他利益剰余金					
配当準備積立金		-		280	△ 280
退職給与積立金		-		280	△ 280
研究基金		-		285	△ 285
別途積立金		1,458,305		1,428,305	30,000
繰越利益剰余金		38,219		54,948	△ 16,729
利益剰余金 合計		84.6 1,506,615		82.3 1,494,189	12,425
自己株式		△ 2.7 △ 47,576		△ 0.7 △ 13,361	△ 34,214
株主資本 合計		87.8 1,563,038		87.3 1,584,827	△ 21,788
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金		△ 0.1 △ 1,042		0.1 2,111	△ 3,154
新株予約権		0.1 915		-	915
純資産 合計		87.8 1,562,911		87.4 1,586,939	△ 24,027
負債及び純資産 合計		100.0 1,780,271		100.0 1,815,292	△ 35,020

比較損益計算書（個別）

単位 百万円

科目	期別	20年3月期		19年3月期		増減 (△は減少)	
		自 至	平成19年4月 1日 平成20年3月31日	自 至	平成18年4月 1日 平成19年3月31日	増減額	増減率
			%		%		%
売上高		-	-	98.1	377,396	△ 377,396	△ 100.0
営業収益		100.0	30,861	1.9	7,248	23,613	325.8
営業収益 計		100.0	30,861	100.0	384,644	△ 353,782	△ 92.0
売上原価		-	-	62.8	241,674	△ 241,674	△ 100.0
売上総利益		100.0	30,861	37.2	142,970	△ 112,108	△ 78.4
販売費及び一般管理費		13.6	4,211	14.2	54,962	△ 50,750	△ 92.3
研究開発費		-	-	11.0	42,125	△ 42,125	△ 100.0
販売費及び一般管理費 計		13.6	4,211	25.2	97,088	△ 92,876	△ 95.7
営業利益		86.4	26,649	11.9	45,882	△ 19,232	△ 41.9
営業外収益							
受取利息			4,182		3,412	769	22.5
配当収益			-		14,348	△ 14,348	△ 100.0
その他の営業外収益			457		3,883	△ 3,425	△ 88.2
営業外収益 計		15.0	4,640	5.6	21,644	△ 17,004	△ 78.6
営業外費用							
支払利息			2,740		2,255	484	21.5
輸出荷為替手形割引諸費用			-		251	△ 251	△ 100.0
その他の営業外費用			1,793		1,444	348	24.1
営業外費用 計		14.7	4,533	1.1	3,951	582	14.7
経常利益		86.7	26,756	16.5	63,575	△ 36,819	△ 57.9
特別損失							
固定資産除却損			-		2,381	△ 2,381	△ 100.0
構造改革費用			-		12,824	△ 12,824	△ 100.0
特別損失 計		-	-	3.9	15,205	△ 15,205	△ 100.0
税引前当期純利益		86.7	26,756	12.6	48,369	△ 21,613	△ 44.7
法人税、住民税及び事業税		2.5	770	1.3	5,100	△ 4,330	△ 84.9
法人税等調整額			△ 1,773		4,878	△ 6,652	△ 136.4
当期純利益		89.9	27,759	10.0	38,390	△ 10,630	△ 27.7

株主資本等変動計算書（個別）

平成20年3月期

単位 百万円

	株主資本									評価・換算 差額等	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 (注)	利益剰余金 合計					
平成19年3月31日残高	40,363	63,636	-	63,636	10,090	1,484,098	1,494,189	△ 13,361	1,584,827	2,111	-	1,586,939
当期中の変動額												
剰余金の配当						△ 15,334	△ 15,334		△ 15,334			△ 15,334
当期純利益						27,759	27,759		27,759			27,759
自己株式の取得								△ 34,232	△ 34,232			△ 34,232
自己株式の処分			0	0				17	18			18
株主資本以外の項目の 当期の変動額（純額）										△ 3,154	915	△ 2,238
当期中の変動額合計	-	-	0	0	-	12,425	12,425	△ 34,214	△ 21,788	△ 3,154	915	△ 24,027
平成20年3月31日残高	40,363	63,636	0	63,636	10,090	1,496,524	1,506,615	△ 47,576	1,563,038	△ 1,042	915	1,562,911

(注) その他利益剰余金の内訳

単位 百万円

	配当準備 積立金	退職給与 積立金	研究基金	別途積立金	繰越利益 剰余金	その他利益 剰余金合計
平成19年3月31日残高	280	280	285	1,428,305	54,948	1,484,098
当期中の変動額						
剰余金の配当					△ 15,334	△ 15,334
配当準備積立金の取崩	△ 280				280	-
退職給与積立金の取崩		△ 280			280	-
研究基金の取崩			△ 285		285	-
別途積立金の積立				30,000	△ 30,000	-
当期純利益					27,759	27,759
当期中の変動額合計	△ 280	△ 280	△ 285	30,000	△ 16,729	12,425
平成20年3月31日残高	-	-	-	1,458,305	38,219	1,496,524